

学校教育目標

心豊かな子どもの育成



「心豊かな(豊かな心)」=実り多い豊かな自己実現が果たせる「心」  
目標に向かって自発的に行動する「心」  
仲間と共に努力する「心」

目指す児童像

- ・ 自他を認め合い、思いやりと社会性のある子ども
- ・ 自ら学習に体力づくりに取り組もうとする意欲と実践力をもった子ども
- ・ 自ら学び、考え、行動する創造性豊かな子ども

目指す学校像

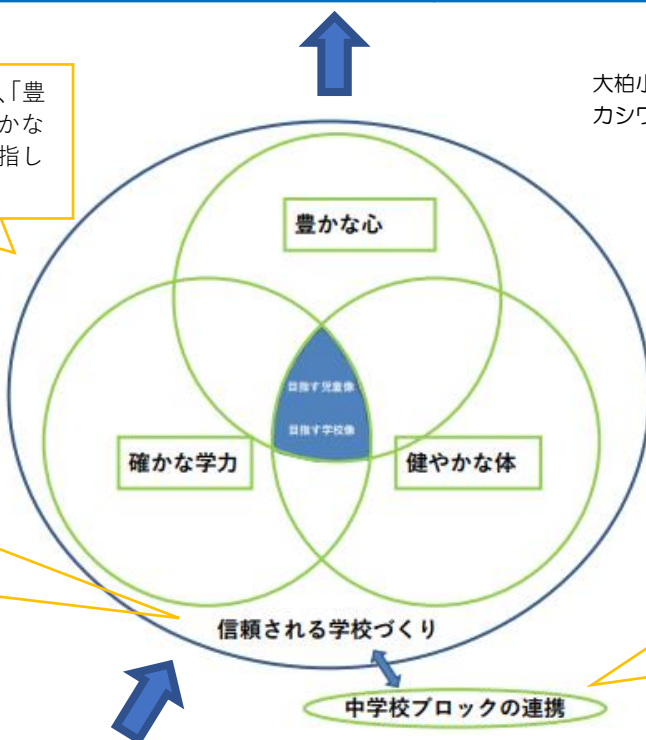
- ・ 「ちから」の学校 基礎的・基本的な学力の習得とたくましい体力をつけ、生涯学習の基礎を培う学校
- ・ 「みどり」の学校 身近な自然や生命環境、地域の人との触れ合い、関わり合いを通して、体験的に問題解決の力をつける学校
- ・ 「こころ」の学校 人と関わって生きる喜びや厳しさを知らせ、支え合って生きる力を養う学校

目指す教職員像

- ・ 常に「子どもにとってより良いこと」を第一に考え、相手の話を傾聴し行動できる教職員
- ・ 互いの良さを認め合い、仲間とともに励む教職員
- ・ わかりやすい授業のために自らの資質向上に努める教職員

学校教育目標の実現のために、「豊かな心」、「確かな学力」、「健やかな体」のバランスの良い育成を目指した教育活動を展開します。

学校の教育活動をより効果的に進めるためには、児童・保護者・地域との信頼関係の構築が大前提です。



大柏小 150 周年イメージキャラクター  
カシワイゴマルくん



幼・保、小、中で、目指す児童・生徒像を共有し、連携して教育活動を進めることで、継続した子どもたちの学びの支援を進めます。

チーム「大柏小」

- ・ 自分のクラス、自分の学年を超えて全校児童を全教職員で育む学校
- ・ 働き方改革を進め、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動ができる教職員

重点目標「主体性の伸長」

チャレンジ！

～やりつづける力～

指示待ち児童 ⇒ 自主性のある児童 ⇒ **主体性のある児童**

目的を達成するために自分は  
何をすべきか考えて動ける児童

五中ブロック「めざす六つの子どもの姿」

- 1 自分からあいさつができる子
- 2 時間を自分で守れる子
- 3 自分で考えて掃除をする子
- 4 自分から進んで授業に臨む子
- 5 自分の考えをもって話し合える子
- 6 自分で決めて家庭学習を進められる子